

# 周南スポーツの発信源

受入企業名 周南市体育協会

私は、高校時代に陸上部に所属し、それをきっかけに高校の近くにある公共のスポーツセンターのトレーニングジムに通うようになりました。そのように、普段、私たちはお客側としてしかスポーツ施設を利用したことがありませんでした。そこで、スポーツセンターの仕事内容はどのようなものなのか、その職場はどのようなものなのかを知りたいと考えました。そうして、周南市体育協会でのインターシップに参加させていただきました。

周南市体育協会が管轄されている地域は、徳山・新南陽・鹿野・熊毛の4つのエリアに分かれています。これら4つのエリアの中で、今回の実習において特に関わらせていただいたのは徳山エリアです。このエリアは、野球場・陸上競技場・庭球場・水泳場・サッカー場等、様々のスポーツ施設で充実しています。その中でも特に、野球場・庭球場は魅力的な施設だと感じました。周南市野球場は、国体があった年にその基準に合わせLED照明スコアボードに切り替えられました。庭球場も同じく国体基準に合わせたテニスコートの増設が行われたそうです。

毎週土日には、これらの施設では多くの種目の大会が行われています。その理由として「周南市コンベンション・シティー」という取り組みがあります。これは、周南市内に山陽新幹線・山陽自動車道・中国自動車道ICは4箇所点在し、交通に恵まれこの長所をいかすことによって地域の活性化・地場産業の振興に繋げようという周南市独自の戦略です。周南市内に全国規模の会議・大会・イベントを誘致しようと狙いです。周南市体育協会は、この構想の下で周南市の第一線に立ち、周南市の発信源になっていることに気づかされました。

普段、私たちは当たりまえのように使っているスポーツ施設なのですが、その管理・運営などの裏側には周南市体育協会の職員の方々の苦勞があってからこそ、市民が施設を利用できていることにこのインターンシップで学ぶことができました。